

科目区分	教養科目	授業科目名	英語Ⅱ			科目コード	26B011	担当者	関口 良嗣			担当形態	単独
対象学科・コース	生活創造学科	配当年次	1年次	開講学期	秋学期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件			
授業形態	演習	履修条件	「英語Ⅰ」の単位を修得していること								教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	
実務の経験を有する教員担当科目	該当	実務の経験内容及び科目との関連	多数の健康・栄養学・医療に関する英文に触れ知識を有している。この経験を活かし授業に幅を持たせる。また米国現地法人への駐在経験（生保）があり、ビジネス英語に精通している。								科目に含めることが必要な事項		

授業の主題	資格取得（英検2級もしくはTOEIC上位スコア）を念頭に学習し、職場でも英語をツールとして役立てることが出来る人材を育成する。	課題等への対応（フィードバックの方法等）	小テスト（英単語）は毎回実施し、採点后コメントとともに返却する。Review Testで記憶を更に定着させる。
授業の方法	ワークブックおよび単語の予習を前提に、重要箇所についてはスライドやホワイトボードを用い説明していく。参加型授業を取り入れ、グループワークも用いる。	アクティブ・ラーニングの実施方法	グループ単位でハイレベルな長文読解課題にチャレンジし、要点を発表したり、プレゼンを行う。英文エッセイを発表しアウトプットの能力を高める。

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修
第1回	分詞（1）+ 不定詞おさらい	分詞の2用法について予習するとともに、前期の不定詞の例文に再度目を通しておく。	第9回	関係詞（3）	関係副詞は関係代名詞とどう使われ方が違うかを意識しながら予習し疑問点をまとめる。
第2回	分詞（2）+ 動名詞おさらい	前期第11回の使役・知覚動詞に再度目を通し、今回の分詞の例文と比べ疑問点をまとめる。	第10回	長文読解	時事テーマについてのグループディスカッションの準備をする。
第3回	分詞（3）+ 英文エッセイ構想サポート	分詞構文について予習し疑問点をまとめる。与えられたテーマについて単語・表現を準備する。	第11回	長文読解 + グループディスカッション	時事テーマについてのグループディスカッションの準備をする。
第4回	比較（1）+ 英文エッセイ構想サポート	原級と比較級について疑問点をまとめる。与えられたテーマについて単語・表現を準備する。	第12回	仮定法（1）+ 英文エッセイ校生サポート	Ifのついた仮定法について予習し疑問点をまとめる。
第5回	比較（2）	最上級の例文に目を通し、できるだけ暗記しておく。	第13回	仮定法（2）+ 英文エッセイ校生サポート	I wish / as if系の仮定法、およびその他の仮定法について予習し疑問点をまとめる。
第6回	長文読解	食・健康等についての英文記事の読解のための準備をする。	第14回	Plus 仮定法 + 英文エッセイ校生サポート	仮定法のPlus復習、「～がなければ」の表現を暗記しておく。
第7回	関係詞（1）+ 英文エッセイ中間発表	関係代名詞に3つの格があることを予習し、疑問点をまとめる。エッセイの中間発表の準備をする。	第15回	グループディスカッション + 英文エッセイ発表会	プレゼンテーション最終準備と資料・ツールの確認をする。
第8回	関係詞（2）	例文と和訳を予習し、疑問点をまとめる。			事前・事後学修時間（分/授業1回） 45分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	English Grammar 23 Lessons/前田 道彦/ (株)いっすな書店、English Grammar 23 Lessons: "Workbook"/前田 道彦/ (株)いっすな書店、記憶王が伝授する 場所法 英単語/青木 健/三省堂	受講生へのメッセージ	後期クラスでは英文法の山場である分詞をはじめ、不定詞/動名詞もていねいに学習しながら、全員が納得いくまで解説します。また後期は文法知識に偏る学習ではなく、英語によるアウトプットに力を入れます。また、人前でスピーチする機会も増えますので社会人としてのセンスに磨きを入れます。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

評価基準																	
	学修成果の大分類	学修成果の中分類 [10の力]	配点比率(%) 学修成果の	評価方法の配点比率(%)					学修成果の小分類			尺度					
				定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法/評価指標	レベル5 (S: 100~90%)	レベル4 (A: 89~80%)	レベル3 (B: 79~70%)	レベル2 (C: 69~60%)	レベル1 (F: 59%以下)
卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)	尽心	① 学習意欲	20					20	自学の習慣が十分に身につけており、疑問点が整理できている。	基礎的英語力	ノート及び小テスト類の整理・集中度・クラスへの貢献度	自学の習慣が十分に身につけており、自ら工夫して不明点を解決できる。	自学の習慣が身につけており、自ら工夫して不明点を解決できる。	自学の習慣が身につけており、ある程度自ら工夫して不明点を解決できる。	自学の習慣がある程度身につけている。	自学の習慣が不十分である。	
		② 規律性															
	知識・技能	③ 知識	50		40	10			英文法の基礎的知識を十分備え、スムーズに業界事情を英文を読み解く力を有している。	英検2級レベルの知識	単語テスト 欠席による追試は必ず行うこと。	英文法の基礎的知識を十分備え、スムーズに業界事情を英文を読み解く力を有している。得点率90%以上。	英文法の基礎的知識を備え、業界事情を英文で読み解く持久力を有している。得点率89~90%。	英文法の基礎的知識をある程度備え、英文読解の持久力を有している。得点率79~80%以上。	英文法の基礎的知識をある程度備えている。得点率69~60%以上。	英文法の基礎的知識が不十分である。得点率59%以下。	
		④ 技能															
	思考・判断	⑤ 情報活用能力															
		⑥ 課題解決力															
	表現	⑦ 言語活用能力															
		⑧ コミュニケーション力	15					15	講師との英問英答がスムーズで既習のフレーズを盛り込んでコミュニケーションが取れる。	聴き取り力・発話力・話題提供力	積極的なグループ討論	講師との英問英答が十分にスムーズで既習の英単語を盛り込んでコミュニケーションが取れる。	講師との英問英答がスムーズで既習の英単語でコミュニケーションが取れる。	講師との英問英答が可成り既習の英単語である程度コミュニケーションが取れる。	講師との英問英答がある程度可能である。	講師との英問英答が不十分である。	
	実践	⑨ 主体性	15					15	自ら進んで発話し、不明点を理解し、クラスにフィードバックできる。	積極的行動力	挙手/自主的発表	自ら進んで発話し、十分にクラスにフィードバックできる。	自ら進んで発話し、クラスにフィードバックできる。	指名されれば発話し、ある程度クラスにフィードバックできる。	指名され、ある程度反応できる。	指名されても反応が不十分である。	
		⑩ 協働性															
合計			100		40	25	15	20									